



令和7年度

鹿児島県立錦江湾高等学校第Ⅳ期 SSHオリエンテーション



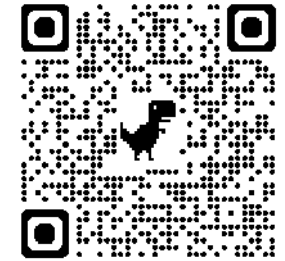
鹿児島県立錦江湾高等学校

SSH総括主任 川野 誠



鹿児島県立錦江湾高等学校について

- ・SSH第Ⅳ期(R4年度～)4年次
- ・普通科4クラス/理数科2クラス



本校HP

〈スクールミッション〉

鹿児島市にある普通科と理数科を有する高校として、県内初のSSHの実績を生かし、探究活動を通して誇りと好奇心を原動力に生徒一人一人が何事にも挑戦する態度を育み、自らの将来を論理的・科学的にデザインし、グローバルな視点で社会に貢献する人材を育成する学校を目指します。

生徒の「気づき」から学びを深化させる錦江湾SSH探究プロジェクト

「気づきの階段」の各STEPで育成したい資質能力

STEP1 理解力・受容力

STEP2 着眼力・思考力

STEP3 洞察力・判断力

STEP4 探究心・自己効力感

STEP5 総合的評価

STEP5 自分自身への気づき

STEP1～4の過程を通じて、生徒自身が本当にやりたいことや将来の目標、夢に気づけるようなきっかけを行い、探究心にあふれた科学技術人材を輩出していく

- 論文作成
- 各種研究発表大会への参加

STEP4 やりがいへの気づき

自身の研究の振り返りや各種発表大会への出場を通して、自身の研究の意義を感じ、研究を深めていくことへのやりがいや楽しさの気づきに導いていく

- 各種研究発表大会への参加
- 課題研究発表会
- GCS講座

STEP3 学びの必要性への気づき

各教科の授業だけでなく、多種多様な関係機関との連携学習などの事業を実施することにより、学んだことを生かして課題研究を深化させられることに気づき、普段からの学びが必要であるという気づきにも導いていく

- リテラシー講座I・II
- 中間発表会
- シリーズ科学講座II
- LPⅡ大学連携アドバイス会
- BS大学連携アドバイス会

STEP2 研究課題への気づき

コンテストやフィールドワーク等の社会や自然科学との関わりを生かした事業を実施することにより、研究課題につながる気づきを促し、生徒・教職員で議論することで研究課題の発展性を見いだす

- 錦江湾上体験学習（フィールドワーク）
- 研究テーマ発表会・検討会
- 気づき発見講座
- 気づきのコンテスト（写真コンテスト）
- アカデミックイベント（理数科のみ）
- 新聞ポスターコンテスト（普通科のみ）

STEP1 多様な価値観への気づき

科学系研究者や技術者、社会で活躍する人材の講演を通して、気づきの大切さやそこから生み出されていく新たな展開を知り、今後の研究活動の基礎を築く

- シリーズ科学講座
- 研究者講義
- 先輩からのアドバイス講座
- 卒業生からのアドバイス講座

課題研究プログラム「気づきの階段」によって科学技術人材の育成を目指す



課題研究プログラム「気づきの階段」に沿った評価システムの構築

ルーブリック評価

各事業ごとに評価を行い、事業の改善・生徒の「気づきの階段」の達成度を算出する

探究テスト

タブレットを用いて年間2回程度実施し、生徒の変容を客観的に評価する

アンケート評価

各STEPでの生徒の気づきを調査し、テキストマイニングを用いて分析する

ポートフォリオ

各種評価内容の分析から、個々のポートフォリオを作成する

課題研究強化チーム

- 各研究班の担当教員への研究内容に関するアドバイザー役となる
- 生徒の大会出場を促進させることで、研究活動を加速させる
- 課題研究に関する全ての教職員での研修会を企画・実施する
- 生徒の研究内容を踏まえ、進学先の提案・アドバイスをを行う

学校体制

- 全校体制
- サイエンス部の活性化
- 教科横断的な授業
- 他校種との連携授業
- 課題研究サポートリスト
- SSH図書館
- SSHミュージアム

SSH特別事業

- グローバルコミュニケーションスキル講座（国際交流会・GCS講座）
- 理系女子応援プログラム（女性研究者・中学生）
- 小中学校出前授業
- 中学生SSH体験入学
- 自由研究お助け隊
- 小中学生探究コンテスト
- 科学館・博物館ボランティア
- 産業界活用
- 実験教室



錦江湾高校の探究の概要

教育課程（普通科） ※ 1コマ45分,6コマ×5日＝週30単位

	情報	情 報	I	2										1年次の情報ⅠはロジックプログラムⅠで代替する。
※	家庭	フードデザイン	2～6					2	2		0, 2	0, 2	0	
科目単位数計				26	28	28	28	28	28	28	82	82	82	
学校 設定 教科	ロジック プログラム	*ロジックプログラムⅠ	◎ 3	3							3	3	3	
		*ロジックプログラムⅡ	◎ 1		1	1	1				1	1	1	
		*ロジックプログラムⅢ	◎ 1					1	1	1	1	1	1	
科目単位数計				29	29	29	29	29	29	29	87	87	87	
総探	錦江湾学		3～6											ロジックプログラムⅠ・Ⅱ・Ⅲで代替する。
合 計				29	29	29	29	29	29	29	87	87	87	
特別活動	H R 活 動			1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	
週当たり総時数				30	30	30	30	30	30	30	90	90	90	

ロジックプログラムⅠ（3単位）

情報 1 単位

課題研究 2 単位

※課題研究の過程で情報に関する指導もおこなう



錦江湾高校の探究の概要

報告書
p69～70

教育課程（理数科） ※ 1コマ45分, 6コマ×5日＝週30単位

情報	情 報	I	2									ベーシックサイエンスで代替する。
	理数	理数探究基礎	1									ベーシックサイエンスで代替する。
		理数探究	2～5									サイエンスリサーチで代替する。
科目単位数計												
主として専門学科において開設される各教科・科目	理数	理数数学Ⅰ	◎4～8	4						4	4	理数物理，理数生物については，1科目選択し，2年次，3年次の継続履修とする。
		理数数学Ⅱ	8～15		4	4	4	4		8	8	
		理数数学特論	3～6		1	1	2	2		3	3	
		理数物理	○4～8		2	2	4	2		0, 6	0, 4	
		理数化学	○4～8		2	2	4	2		6	4	
		理数生物	○4～8		2	2	4	2		0, 6	0, 4	
		理数地学	○4～8	3	1	1				4	4	
		*ベーシックサイエンス	◎ 3	3						3	3	
		*サイエンスリサーチ	◎ 2		2	2				2	2	
		*サイエンスキャリア	◎ 1				1	1		1	1	
科目単位数計				29	29	29	29	29	87	87		
総探	錦江湾学	3～6									ベーシックサイエンス・サイエンスリサーチ・サイエンスキャリアで代替する。	
合 計				29	29	29	29	29	87	87		
特別活動	H R 活 動			1	1	1	1	1		3	3	
週あたり総時数				30	30	30	30	30		90	90	



錦江湾高校の探究の概要

報告書
p66~70

・学校設定科目として

普通科：**ロジックプログラム(LP)**

1年生 **3単位**

30分

2年生 1単位 ※夕活も活用して実質2単位化

3年生 1単位

理数科：**アクティブサイエンス(AS)**

1年生 **3単位**

2年生 2単位

3年生 1単位

情報1コマ
課題研究2コマ
※課題研究の中で情報に関する指導もおこなう。

→ 「総合的な探究の時間」に相当 ※1コマ=45分



錦江湾高校の探究の概要

報告書
p14

ロジックプログラム I (普通科・1年次) 3単位

→主に学年所属の全職員＋理科職員が指導する（約20名）

1 学期 2 学期	ガイダンス	学術研究・ 課題研究を知る	・ オリエンテーション ・ 先輩からのアドバイス講座 ・ 写真コンテスト
		講演会等で「気づく」	
3 学期	課題研究	分野決定 班編制 テーマ設定	・ リテラシー講座

例年，約20班程度

課題研究強化チームによるサポート

※ 1年次途中までは普通科・理数科ともに同事業を実施。 7



ロジックプログラムⅡ(普通科・2年次) 実質2単位

→主に学年所属の全職員＋理科職員が指導する(約20名)

1 学期 2 学期	課題研究	データ収集・処理	・ シリーズ科学講座 ・ リテラシー講座 ・ SSH生徒課題研究中間発表会 ・ 大学連携アドバイス講座 ・ SSH生徒課題研究発表会
3 学期	研究発表	データ処理 ポスター発表 大会出場	



錦江湾高校の探究の概要

ロジックプログラムⅢ(普通科・3年次) 1単位

→主に学年所属の全職員＋理科職員が指導する（約20名）

1 学期	論文作成	データ収集・処理 成果の集約	・ 各種大会発表
2 学期 3 学期	進路実現	課題研究での学びを まとめる	



錦江湾高校の探究の概要

ベーシックサイエンス(理数科・1年次) 3単位

→主に理科・(数学) 職員が指導する

1 学期	ガイダンス	学術研究・ 課題研究を知る	・オリエンテーション ・先輩からのアドバイス講座 ・シリーズ科学講座 ・写真コンテスト ・アカデミックイベント ・BS アドバイス会 ・リテラシー講座
		講演会等で「気づく」	
2 学期 3 学期	課題研究	分野決定 班編制 テーマ設定	

例年，約10班程度

※ 1 年次途中までは普通科・理数科ともに同事業を実施。 10



錦江湾高校の探究の概要

サイエンスリサーチ(理数科・2年次) 2単位

→主に理科・（数学）職員が指導する

1 学期 2 学期	課題研究	データ収集・処理	・ リテラシー講座 ・ SSH生徒課題研究中間発表会 ・ 大学連携アドバイス講座 ・ SSH生徒課題研究発表会
3 学期	研究発表	データ処理 ポスター発表 大会出場	



錦江湾高校の探究の概要

サイエンスキャリア(理数科・3年次) 1単位

→主に理科・（数学）職員が指導する

1 学期	論文作成	データ収集・処理 成果の集約	・ 各種大会発表
2 学期 3 学期	進路実現	課題研究での学びを まとめる	

洋上体験学習(鹿児島大学 大富潤 教授/大木公彦 教授) 4月



- ・ 1年生対象
- ・ 遠足を兼ねて実施した。
- ・ 桜島フェリーを貸し切り、錦江湾の地形や生物についての講義を実施した。



研究者講義



- ・ 1 年生対象。
- ・ 株式会社エルム代表取締役
宮原 氏を講師として、日常
の気づきから挑戦することの
意義や大切さを学んだ。

先輩からのアドバイス講座



- ・ 1・2年生対象
- ・ 2・3年生の先輩による研究発表を行った後，担当職員を交えたパネルディスカッションを実施した。年度初めに先輩の研究発表を聴くことで，課題研究への見通しをもたせることができた。



卒業生からのアドバイス講座



- ・ 1・2年生対象。
- ・ 本校卒業生による講義を実施した。
- ・ 講師の高校時代における課題研究や、現在の専門分野についての講義を実施した。

気づき発見講座



- ・ 1年生対象
- ・ 本校職員が自分の学生時代の専攻テーマについて講話をし、課題研究の意義や魅力、テーマのを見つけ方等について学んだ。
- ・ 本校職員のSSH事業への参加意識を向上させる意味合いもある。

写真コンテスト



「気づき」を写真に収め、仮説を立てる

→ 生徒・職員で投票し、上位者を表彰する

アカデミックイベント



- ・ 1 年生理数科対象
- ・ 鹿児島大学に赴き、物/化/生/地の希望する分野に分かれてそれぞれの学問について学んだ。



R 4 ~ 6 年度

ロジックプログラムⅡアドバイス会



- ・ 2年生普通科対象
- ・ 鹿児島大学/鹿児島国際大学の講師やTAを招き、普通科生徒の課題研究に対する助言をいただいた。





全校体制づくりのために

リテラシー講座

→ 課題研究をすすめる上で必要なリテラシーを育成

- ① メディアリテラシー
- ② 統計リテラシー
- ③ プレゼンリテラシー
- ④ リサーチリテラシー
- ⑤ グローバルリテラシー

職員研修も兼ねる



※ビデオ撮影し、共有する

→ 生徒と共に学ぶ・基準の確認・負担の軽減



錦江湾高校の探究の概要

10月下旬

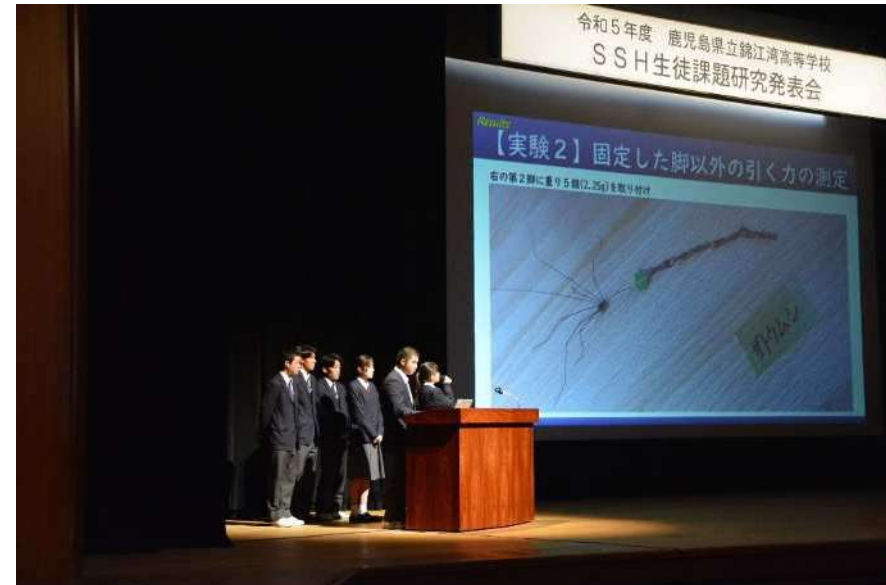
生徒課題研究中間発表会

- ・ 校内（体育館）で実施
- ・ ポスター発表
- ・ 口頭発表
- ・ 大学の先生が審査員



生徒課題研究成果発表会

- ・ 外部会場で実施
(宝山ホール・県民交流センター)
- ・ 外部参加者あり
(他校生徒・職員、
学校視察、保護者 等)
- ・ ポスター発表
- ・ 口頭発表





大会出場の様子

県探究コンテスト





大会出場の様子

GSA夢の翼





SSH普及活動

SSH交流フェスタ

鹿児島県内のSSH校（5校）で
交流発表会を実施している

錦江湾高校

池田高校

国分高校

甲南高校

鹿児島中央高校





国際性を高めるための取り組み

鹿児島大学留学生 × GCS講座

- ・ 鹿児島大学の留学生に来校していただき、
英語でのコミュニケーションをとる
- ・ 課題研究の発表を英語化する際にアドバイスをもらう





SSH普及活動

自由研究お助け隊



大丈夫です！
錦江湾高校生が
お手伝いします

夏休みの宿題が終わらない...
自由研究のテーマが決まらない

錦江湾高校
夏休み自由研究お助け隊
2024年7月25日(木)
受付 13:30~14:00 各コース 14:00~16:00

・対象・・・小学生(保護者同伴が条件になります)
※参加組数は50組までとなりますので、申込者多数の場合は抽選となります。ご了承ください。
・参加費・・・無料
・申し込み方法・・・下記の二次元コードからイベントの詳細と申込み方法をご確認ください。

【実施内容】
昆虫標本をつくろう (参加組数: 10組)
植物標本をつくろう (参加組数: 10組)
岩石標本をつくろう (参加組数: 5組)
スライム作り・ウリップモーター作り等 (参加組数: 20組)
書道 (書き方の指導等) (参加組数: 5組)



担当 錦江湾高校 牧内 099-261-2121





SSH普及活動

湾ぱく探究コンテスト



子どもの想像力には
無限の可能性がある！

鹿児島県立錦江湾高等学校主催

第3回 湾ぱく探究コンテスト

夏休みに頑張った自由研究を錦江湾高校で発表しませんか？

コンテスト概要

2024. **8.29** (木)
13:00 ~ 16:30
会場: 錦江湾高校 理科棟
対象: 小中学生

当日の発表は作品の写真とポスターでお願いします！

 発表を通して プレゼン力や コミュニケーション 能力を育成！	 選定の面白い作品 や優秀な作品 には最優秀賞を 授与！	 大学の先生方も 審査員として 来校されます！
--	---	---

鹿児島県鹿児島市平川町4047
TEL: 099-261-2121
鹿児島県立錦江湾高等学校

イベントの詳細と申込みについては
左のQRコードからご覧ください。





SSH普及活動

集まれ！理科好き

Come on!! Science Lover's in Kagoshima 

集まれ！ 理科好き

2023.12.26 (Tue)



Biology



Chemistry



Physics



Earthscience

錦江湾生選りすぐりの研究を体験しよう！

期日：2023年12月26日(火)
場所：県立錦江湾高等学校 理科棟
講師：課題研究発表班 サイエンス部

★当日の流れ★

13:20-13:50	受付 (化学階段教室)
13:50-14:20	開会行事
14:20-15:10	体験活動①
15:10-15:20	休憩・移動
15:20-16:00	体験活動②

★コース概要★

1. カブトムシの種類を分ける境界線
2. ザトウムシはなぜ足を切る？
3. ジョロウグモの生態について
4. サツマイモからプラスチックを作る
5. 果物の皮を使ったエコへの取り組み
6. BSアンテナで豪雨を予測する
7. シャボン玉の不思議

★



上記の7つのコース概要の中から1希望～4希望をお選びください。ただし、人数の都合上希望順位が低くなる場合もあります。ご了承ください。
申込は左のQRコードで12月20日までとなります。

【お問い合わせ先】
鹿児島県立錦江湾高等学校
TEL:099-261-2121
メール:kinkowan.ssh.event@gmail.com





SSH普及活動

小学校出前授業

近隣小学校にて、本校生徒による実験教室を実施した。

参加生徒

理数科1年生

